さいたま市社会福祉事業団の概要

さいたま市社会福祉事業団
シンボルマーク

『あなたの笑顔、みんなのしあわせ』

さいたま市社会福祉事業団は、さいたま市が設置した福祉施設の経営を中心に、さいたま市からの委託事業及び独自の事業を行っています。

１　法人の名称・代表者・所在地

名　称　　社会福祉法人　さいたま市社会福祉事業団
代表者　　理 事 長　　荒　井　康　博
所在地　　さいたま市大宮区土手町１丁目２１３番地１



法人事務局（大宮ふれあい福祉センター）

２　設立年月日

平成 13 年８月１日

昭和50年７月９日　旧大宮市社会福祉事業団　設立
昭和58年３月１日　旧浦和市社会福祉事業団　設立
平成13年８月１日　３市合併に伴う新法人設立
平成15年４月１日　さいたま市社会福祉協議会から施設（旧与野市社協経営施設）移管
平成17年４月１日　旧岩槻市社協経営施設を受託（移管）

３　職員数（令和８年 10 月１日現在　臨時職員を含む。）

合計　　767名

・正規職員	283人	(36.9%)
・嘱託	78人	(10.1%)
・クラブ職員	121人	(15.8%)
・臨時職員	269人	(35.1%)
・人材派遣	16人	(2.1%)

４　事業規模（令和８年度収入予算）

56億2641万4千円（うち、さいたま市との運営委託契約額　29億5,562万円）

５　主な事業内容

高齢者対象

ケアハウス	1
老人福祉センター	8
老人憩いの家	9

児童対象

母子生活支援施設	1
児童センター	18
放課後児童クラブ	53
放課後子ども居場所事業	3

障害児者対象

生活介護事業	7
就労移行支援事業	1
就労継続支援事業Ｂ型	5
就労定着支援事業	1
自立訓練事業(機能訓練)	2
(生活訓練)	2
相談支援事業	12
身体障害者福祉センター(Ｂ型)	1
児童発達支援センター	5
児童発達支援事業	1
放課後等デイサービス	1
共同生活援助	1
生計困難者に対する相談支援事業	1
	他

- **施 設 数**　112
  - 指定管理施設数　104（さいたま市が設置する社会福祉施設）
  - 自主運営施設数　3（日進職業センター、かやの木、むつみホーム大間木）
  - 市からの委託施設数　5（浦和区障害者生活支援センター、療育センターさくら草（すみれ・たんぽぽ）、放課後子ども居場所事業等３か所）

- **事 業 数**　143（法に定める事業数）
  - 指定管理施設の事業数　122
  - 自主運営事業数　13（自主運営施設に加え、管理施設内で市から許可を得て運営する事業）
  - 市からの委託事業数　8

※　大崎むつみの里を例にすると、以下のとおりとなる。
指定管理施設数　２　①大崎むつみの里第1事業所　②大崎むつみの里第2事業所
指定管理事業数　１２　①生活介護②機能訓練③生活訓練④就労継続支援Ｂ型⑤児童発達支援⑥保育所等訪問支援⑦障害児相談支援⑧東部地域つながる発達支援相談事業⑨一般相談支援⑩特定相談支援⑪共同生活援助⑫短期入所事業

さいたま市社会福祉事業団経営理念

私たちは、
だれもがその人らしい生活が送れ、
ともに支えあう、豊かな社会づくりに貢献します。

経営基本方針

◆ 経営基本方針

経営理念を実現するため、次のことを実践します。

1　人の尊厳を守り、「その人らしい生き方」を大切にします。

だれもが人として尊重され、その人らしい主体的な生活が送れるよう努めます。そして、地域の中で安心して暮らし続けられるよう支援します。

2　「共に支えあう社会づくり」を目指します。

地域と共に生きることを目指し、住民相互の交流を促進します。また、ネットワークを活用し、地域の福祉力の向上に貢献します。

3　期待されるサービスを追求します。

ニーズに沿ったサービスの提供に努めるとともに、地域のセーフティネットとしての機能を果たします。また、時代を捉えた新たなサービスの創造に努めます。

4　高い専門性と豊かな人間性を備えた人材を育てます。

専門的な知識・技術に加えて、高い倫理観、深い人間観を持った職員を育成します。また、福祉人材の育成を積極的に支援します。

5　社会的責任を果たすとともに、自立的経営基盤の確立を目指します。

社会規範・法令の遵守、経営の公開性・透明性の確保に努めます。また、経営の安定化・持続化を図るとともに、効果的・効率的な経営を促進し、自立性を高めます。